成人映画 80

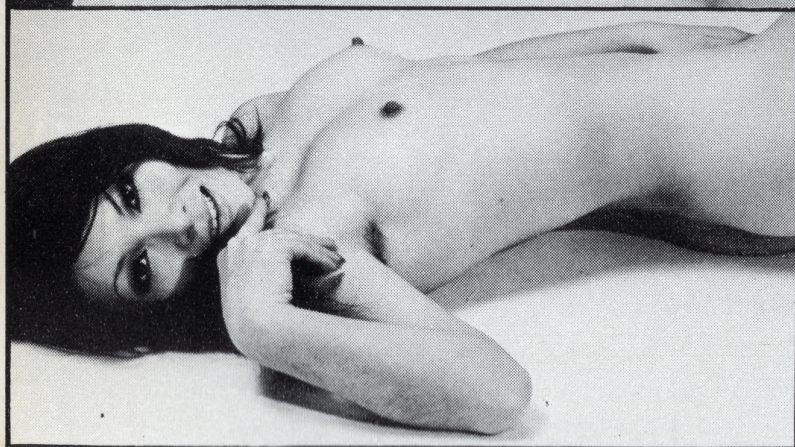
＝1972
￥200

昭和44年12月18日 第3種郵便物認可 昭和47年9月1日発行通巻80号 毎月1回1日発行

80号記念特大号

★ピンク映画改造論

★カラーヌード6人集★ピンク女優全調査

★《芹河奈美》の悪女的恍惚の表情

特価 8,000円
4ツ切り、キャビネサイズ20種

■ピンク女優のヌード特写集
すべて印画紙に焼いた手作りの作品集で、未公開のものをふくめての限定版。（現金書留でお申込み下さい）

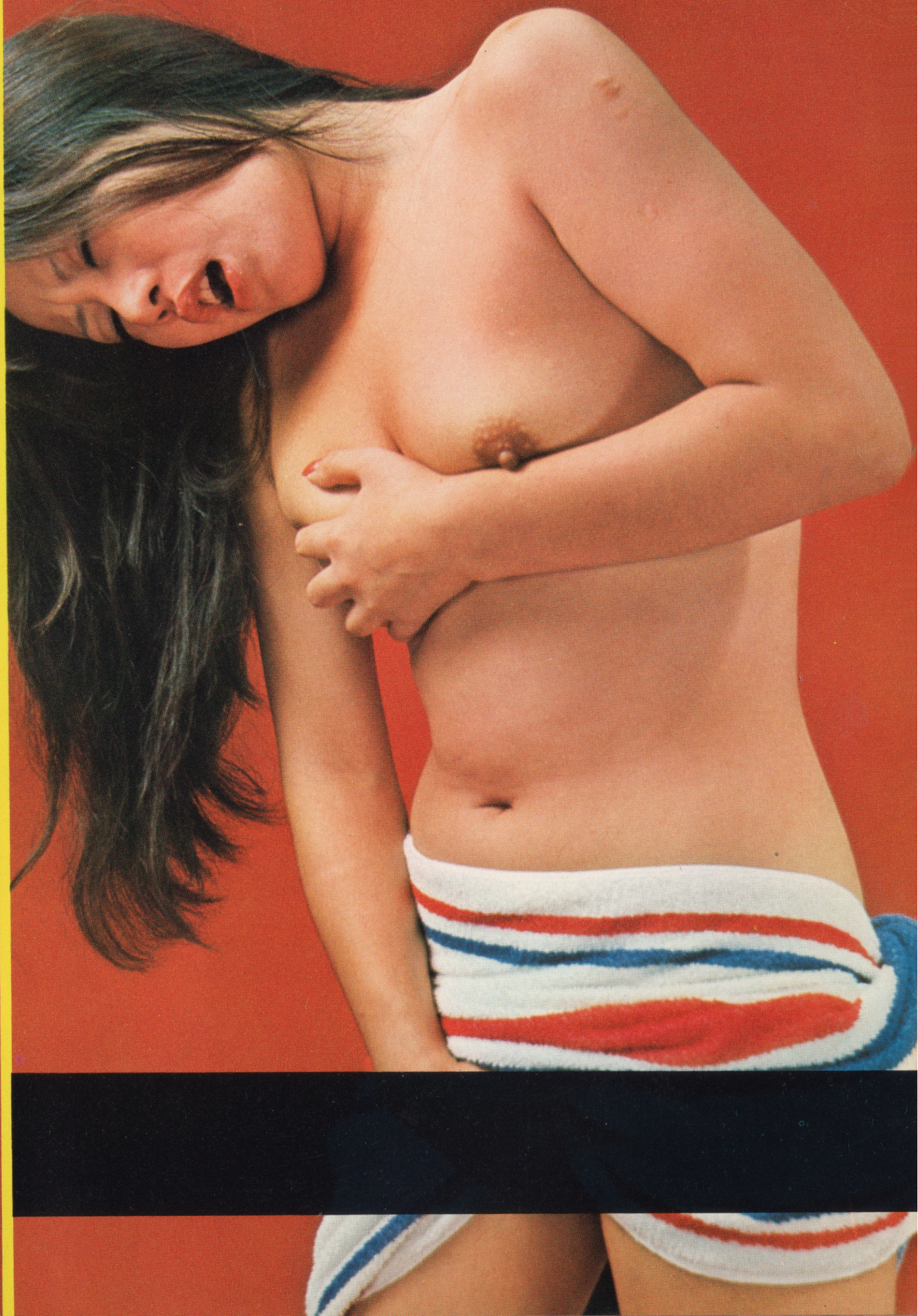
■東京都港区六本木3-4-34・601号室
〒106　現代工房・写真部

ピンクポルノ写真集

高瀬かおり

沖さとみ

高瀬かおり

高瀬かおり

谷身知子

宮下順子

大月麗子

泉ゆり

宮下順子

成人映画／目次

80号記念特大号

表紙＝宮下順子

巻頭特集

日本ピンク映画改造論

盛り返し策への一つの提言

＝編集部

ピンク映画は裏街道の道端に咲く仇花か

ピンク映画にかかわりあいを持って、ことして七年目。この「成人映画」誌も、この号で80号を迎えた。永いようで短い。邦画五社の力がまだ厳然としていて、〝ピンク映画は裏街道〟といわれ、表通りを公然と歩けない村八分の時代を何年か送った。

時代を先どりすることはカッコいい反面、物凄い弾圧と疎外感にさいなまれた。マスコミではとてもまともに扱わない時代、単に脱ぐ女優への興味と、ベッド・シーンへの色目的なものとして週刊誌が扱った。ピンク映画はこの八年間の間になにを残したか。

監督や、俳優が何人か生まれて消えた。それはこの世界ばかりではない。邦画五社も同様のことである。だが、ピンク映画は、ハッキリいって、〝性による映像表現〟をより豊かに切り開く担い手であった。

いま実社会で働く中堅社員の多くに「大学生時代ピンク映画のファンだった」という人たちと随分会ってきた。

彼らはいまの時代を支える主要な一人であり、ピンク映画が青春時代の想い出であり、若い性の頭脳的発散ゾーンとして利用したと思う。

そこには〝ポルノ〟の〝ポ〟の字も介在しなかった時代だ。ピンク映画ともいい、エロダクションともいい、若松孝二監督をはじめとする渡辺護、向井寛、山本晋也、沢賢介らの監督陣、松井康子、内田高子、新高恵子といった女優陣。作品群

も、そこには〝日本人の性〟がその時代の中でとらえられてきた。

SEXを大衆化した功績はあるが

映画企業が次第に衰退しはじめても、なおピンク映画界だけはある程度の強さがあった。なぜなのか。そこには性を美化せず、ナマな現実に近い視点でとらえつづけたことも一つの要因だろう。性は汚れ、悪にもなれば、性は人生の歓喜やロマンや、生きがいにもとらえられる。性の強さ、もろさ〝悲しさ、それらを製作陣は、身近な存在感としてとらえ描いたところに、大衆の共感を得たのではなかったか――。

だが、それらを果たしてピンク映画界の関係者はどこまで思考し、目的をもって製作に情熱を燃やしたか？　ある一部の人々を除いて単にショウバイになればいいという打算的な営業方針でしか生きなかった人々も多くいたのは否定できない。

一時は「三百万円映画」といわれたピンク映画が、物価の上昇と人件費のアッ

プに反比例して逆に、二百万円映画になってしまったこの消極性。どこの企業にも、製作費を逆にダウンしてしまうということはきいたことがない。

当然、作品的価値が下降するのは当然である。そして客足も遠のくのは当然である。

シナリオの貧困、女優難、監督の弱体化、配給会社の消極策、そして低迷—当然なり行きだ。

日活ロマンポルノが成功した土壌は何か

71年、秋、日活がロマン・ポルノ映画に踏み切った。助監督を監督にし、助監督をプロデューサーにして、オールカラー、直接製作費七百万円。

はじめは、どこまでやれるか？　長くはないさ、上映館も期待出来ない。調布の撮影所は売却されている—といったきわめて悪条件の揃った中で、彼らは闘った。

内容的にもピンク映画を乗り越える作品が生まれた。マスコミによる宣伝はキャリアがある。そしてドン底から這い上がる強さ。

都内、地方のピンク映画館の声をきくと、「日活に食われている」と異口同音の嘆きなのである。

ポルノ映画界はピンク、日活ポルノ、洋ピンをふくめて一段と激しい競合の時代に突入している。

ピンク女優の日活作品への流出。これは一段とエスカレートしている。

現在50本の作品を生み、専門館が一〇九館、一作品のプリント焼増本数が三二本。専属監督十五名、専属女優八名、安定したジャンルを築きつつあることは否定できない。

「ロマンポルノ」と銘打った日活、一応成功したが…

製作会社の意欲と新人女優発掘に期待

さてわれらが愛するピンク映画界よ！どうする気だ。このままでいいのか。
沈黙していた向井寛監督が国映で10月、12月作品を二本撮るのをはじめ、関孝二監督が、ドキュメントもので、「中絶王国ニッポン」を撮るというし、渡辺護監督が9月作品を一本と国映が、活発化してきた。矢元照雄社長の息子で専務の矢元一行氏が、ナイトクラブ営業責任者になって、その方面に力を注ぐといい、製作、配給の窓口は矢元社長になる。製作、宣伝も一戸英生氏が担当するというから
この動きは、第二期のピンク映画の盛り上がりをみせるかどうか。とにかくいま国映に監督たちが売り込みに来ているというから、監督たちはやる気あんだな。
日本シネマが八月から月一本体制でオールカラー作品をコンスタントに製作配給してゆく方針だといい、九月作品は「夜の体位・歓喜」（監督佐々木元）が決定。

「性」は永遠のテーマであるが…「性遊記」より

日活ロマンポルノのオールカラー化に影響されていないとはいえまい。鷲尾―千葉コンビはさらに多角的に強化されるわけだ。
プロ鷹から新人監督和泉聖治が生まれた。この人、かなりの素質をもっているだけに、72年の注目株。カラーは違うが第二の若松孝二になり得る可能性がある。
去る二月に「女体珍味」（ミリオンフィルム配給）でデビューした女流監督の浜野佐知も期待できる。彼女は梅沢薫監督の助監督もしたことがあり、ユニークな才能がこれまた注目されている。
監督陣も新藤孝衛、梅沢薫、小林悟、小川欽也、沢賢介、佐々木元、稲尾実、渡辺護、木俣堯喬、向井寛と多士済々である。
日活に喰われるのを傍観はしていないのは当然だが、いまこそ、製作、配給会社と手をにぎってまき返しに出てほしいのだ。
そのためにも女優も必死になって探そう。どうせ日活はピンクのお古を使っていると思えばいい。新人スカウトにはそれぞれキャリアのあるベテランが多いではないか。

話題の新作紹介
衝撃の映像

男殺しの谷ナオミ

性遊記＝六邦映画配給

和服姿も色っぽい女が温泉街へやってきた。人呼んでキンチャクのお紋、またはチン切りのお紋（谷ナオミ）だ。名器の持主でしかもその下腹部の筋肉で締めつけられると絶倫の男さえ不能にされてしまうという男殺しのお紋がきたため町は大変なさわぎ…。若葉なつ子、友川ゆかり、椿純が出演。監督＝武田有生

責められる若葉なつ子

←↑「エロチカ色合戦」

エロチカ色合戦

＝OP映配提供(大蔵映画作品)

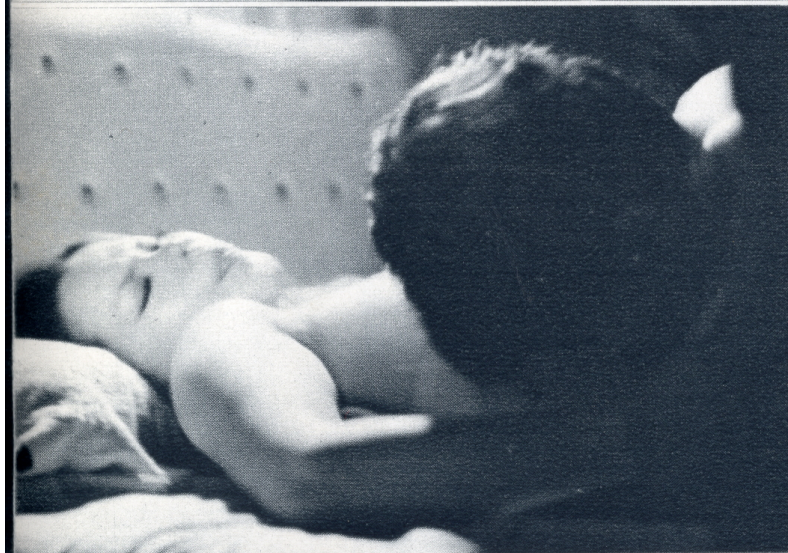
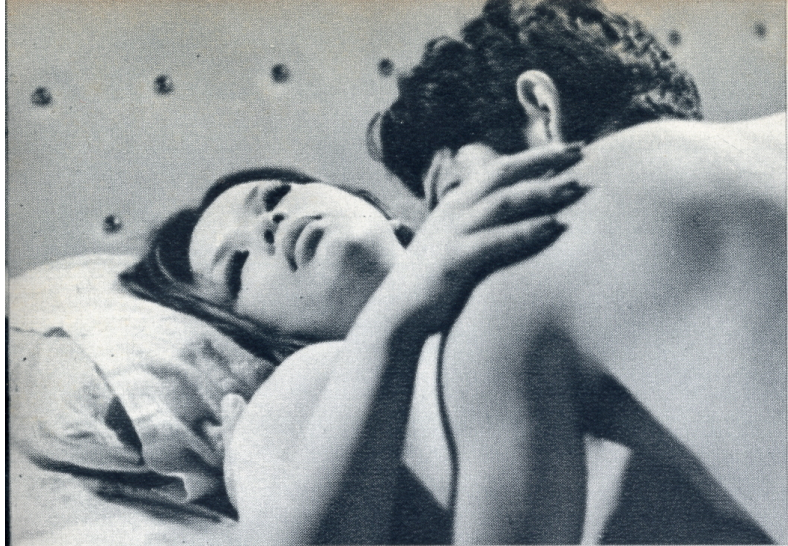
栄治(国分二郎)は旅館の番頭としては一流だが自分の一物が余り偉大なため女たちからさわがれ一ヵ所に長くいることが出来ない。今度こそはと不二江(林美樹)の旅館の番頭になるが、彼の歓迎会のさい芸者(大月麗子)と寝たためまたも町中のうわさになり女たちに追いかけられる。困った町の男たちは性欲の強い女(宝井みづほ)を呼び栄治の相手をさせる。二人はピッタンコと合ったため男たちはホッとする。監督＝小川欽也

「セックスの条件」の芹河美奈

セックスの条件

=国映配給

フーテンの花子（芹河美奈）はだれとでも寝る女だ。ある日、工員の太郎（滝沢秋弘）と知り合い寝るがなぜか心に残る男だった。金のために伊藤（武藤周作）の女になるが金がすべてではない―と知り太郎と貧しいながらも幸わせな生活をする。城新子、藤ひろ子、関多加志が出演。監督=渡辺護

「セックスの条件」の城新子

欲情家族

＝ミリオンフイルム配給

千代（香取環）は場末でオサワリバーをやっている。息子の五郎（正木悠介）はサラリーマンだったがやめて千代の店のバーテンをやり、五郎の姉美沙（谷身知子）も母の店でホステスをやっている。千代と美沙は毎夜淫らな狂態を五郎の前で平気でやっている。美沙はジョージ（サニー）の情婦だったがマリーにジョージを取られ自殺する。五郎はホステス由紀（三条聖子）にほのかな恋を感じるが由紀は金のため磯部（吉田純）と寝てしまう。

監督＝中村幻児

女は愛に濡れる

＝OP映配提供（ワールド映画作品）

清三（野上正義）は殺人犯人として船で護送されるが同じ殺人容疑で春江（泉ゆり）と手錠でつながれる。途中で船が沈み二人だけ助かったが手錠でつながれたため思うようにいかない。逃亡し食べ物を盗み狂ったようにお互いを求め合が春江は殺人をやっていないため逃亡を拒否する。憎しみ合いながらも引かれてゆく二人は…。監督＝小金井次郎

手錠のまま逃避行する泉ゆりと野上正義

痴情の女

＝日本シネマ配給

良一（国分二郎）は最愛の妻（友川ゆかり）がセールスマンとの情事を目撃しショックを感じ離婚する。ハリがない毎日を送っていたがある日、昔、愛を誓った和子（真湖道代）と圭子（青山美沙）の写真を見て二人を訪ねる気になる。清純だった和子は妖艶は女となり男達に囲まれており、健康的だった圭子はヤクザのヒモになり暗い女とそれぞれ変っていた。監督＝中村幻児

「恍惚の日々」の青山美沙と椙山拳一郎

恍惚の日々

＝葵映画配給

東北の片田舎に育ったミキ（青山美沙）は両親は死に叔父（吉田純）に育てられるが強引に犯され女としての快楽にふけっている。ある夜、叔父が呑み屋の女（乱孝寿）と情事にふけっているのを目撃し家出をする。上野についたミキはやくざにだまされ売春婦となる。警察の手入に合ったミキは釈放後、男たちに次々犯されボロ屑のように捨てられる。そんなとき章子（真湖道代）に助けられるが章子は同性愛なため耐え切れず逃げだすのだった。監督＝千葉隆志

「恍惚の日々」の乱孝寿と吉田純

「感じる若妻」の大月麗子

感じる若妻

＝ＯＰ映配提供（関東ムービー作品）

君江（大月麗子）の夫耕作（港雄二）は東京に出稼ぎにいっている。ある日、浜で君江は別荘にきている若者たちに犯されてしまう。その中の一人祐介（伊丹明夫）はひつこく君江を追い回す。仲間の信彦（滝沢秋広）も君江を好きになりこのままでは彼らのエジキになるからオレと一緒に東京に行こうと誘う。そんなとき夫が帰ってきた。信彦とのことを聞いた耕作は信彦の別荘にゆき彼の母洋子（小島マリ）を犯してしまう。夫は君江を犯した男たちに復讐してゆく。監督＝新船澄孝

「感じる若妻」

●ピンク映画みたまま

歯切れよいミステリーポルノ

情事の報酬＝ミリオンフイルム

■木俣堯喬監督の二世、和泉聖治監督の第一回作品。デビュー作にしてはなかなかバックボーンのある演出で、将来が楽しめそうだ。

銀行強盗で三千万円を盗んだ六人組がボスの相田にその金を預けて散っていた。そしてある日、相田の手紙を貰って、軽井沢の相田の別荘に集合させられる。

金を分配しようというのだ。集ったのは井上（坂東国広）江島（水野悟）マリ（青山美沙）宇野（神原明彦）、それに夫が死んだため代理人としてきた妻の正子（珠瑠美）の五人。ボスは数日留守をすると書置きしてあり、その間、この五人は、いがみ合う。一人でも頭数が少ない方が分け前が多くなると胸算用している。

ところが何者かによって、つぎつぎ殺されてゆき、ボスさえも殺されていた。結局残ったのは珠瑠美と神原の二人。

■神原は正子の肉体を奪い、一緒に逃げようと強迫する。ラストのドンデン返しで、実は珠が相田の情婦で、この秘密をにぎり、金をひとり占めにしようと計画したことを神原に明かす。ピストルをつきつけられて危機一発。刑事に手錠ガチャリでエンドマーク。郵便配達人が事件を見て、警察に通報したのだった。

■なかなかあかせないでひっぱってゆく構成で、演出もツボを心得て手堅い。

ベッド・シーンも歯切れよく、青山美沙のセックスシーンをダブロール（違った場面を二重写しにする）でみせたり、新鮮だ。キャステングもいい。

原作が森丹次郎の「殺人ホテル」で、木俣堯喬がよく脚色している。ピンク映画の監督も二代目が誕生したが、和泉監督のデビュー作としては将来が楽しめそうだ。収獲だ。

眼 次郎

青山美沙のベッド・シーンは感じちゃう

●ピンク映画みたまま

新味がたりないフイルム構成

日本の恥部を覗く＝国映

■肉眼ではほとんどみえない部分を赤外線という特殊な高感度フイルムを使って撮影したものだが、もちろん全編この赤外線フイルムではない。三分の一程使われているだけ。

関孝二監督はピンク映画のパイオニアであり、立体映画(メガネをかけて見る)をピンク映画に採り入れたり、つねにさまざまな試みをしている。

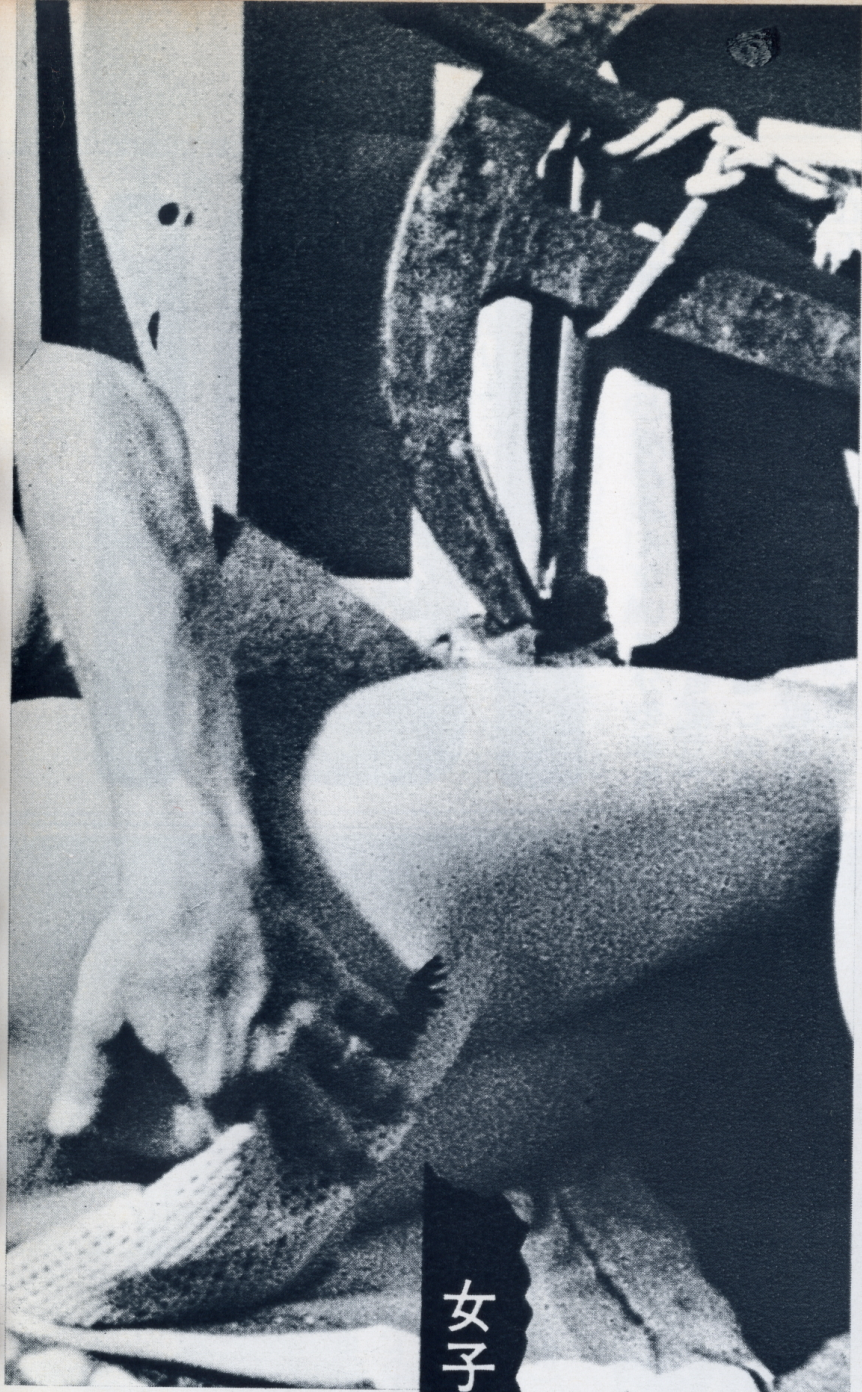
〝冒険〟というほどではないとしても、現状打開を試行している点、この意欲は大いに見習うべきだろう。

■だが、この「日本の恥部を覗く」は果たしてどうか。つまり〝覗き趣味〟を赤外線フィルムで満たそうという狙いはハッキリしている。それならそれでもっと果敢な取り組み方なり、またある週刊誌のグラビアでとりあげていた〝のぞき屋〟の野外のアベックのセックス行為をのぞき見るグループを赤外線フィルムでルポしていたが、こうした特殊なフィルムで写し取る最良の手段であり、効果的なのだが、この映画では、衝撃的なドキュメンタリー性が薄いのである。

撮影にはさまざまな障害や苦労はつきものだが、セックスゾーン(地帯)をのぞき見るだけで、その実態やあばき方が追及されていないのだ。

■シンナー遊びやおさわりバー、麻薬アベック、コールガールなど、さまざまな日本の夜のセックス地帯が隠し撮りされたり、麻薬取締関係者や、産婦人科医などからもインタビューしているが、いかにも使い古されたパターンであり、かってのニュース映画でみせられたそれと、それほど変化がない。ここには72年がない。それはカメラを向ける視点に思想性や鋭さが欠けているからではないのか。ドキュメンタリーとはつねにその時代を追及し、発見し、問いかけていかねばならないものだと思う。国映スタッフの苦労は買うとしても、赤外線でなければならなかった必然性は残念ながらそれほど受け手に迫まらなかった。

村井 実

アベックのメッカ夜の公園隠し撮り

●洋画ポルノ

あばかれた女子学生のSEX

女子学生の告白・狂った夏休み

「女子学生の告白・狂った夏休み」は西ドイツのルポ・ライター、ペータ・クロスの「女子学生の告白・危険なセックス」の完全映画化。巡回牧師になりすました彼は赤裸々な女子学生達の夏休みを取材

すべく、海、山、キャンプ場、売春街等、西ドイツ全土を歩きまわり、約二百人の女子学生から恐るべき夏休みの実態をレポートし、一冊の本にまとめあげた。発売されるや、ベストセラーになり、西ドイツPTA連合協会からワースト・ブックNo.1に選ばれ、発禁問題も持上がって一大センセーションを巻き起こした。

映画化にあたり、スタッフは西ドイツはもとより全ヨーロッパの、14才から17才までの素人女子学生をスカウト、彼女らの地でゆくハレンチぶりを迫真のテクニックで克明に描き上げている。山の頂上での天国SEX、のたうつ女体に揺れるボート、キャンピング・カーでの即席売春、花嫁の膣症攣に喘ぐ花婿、変態男に車の中で強姦される処女、レズに明け暮れる異母姉妹等、相像もつかぬ女子学生達の〝狂った夏休み〟の連続が約五十人のスケ・バンによって大スクリーン狭しと展開してゆく。

監督には「性熟」でティーン・エージャーの性生活の実態をみごとに描いたアロイス・ブルマーがあたり、危険な歳ごろの娘達のSEXを大胆にとりあげている。(配給グローバールフィルム)

犯したくなるような“すました女優”

青山美沙

★…ピンク女優もつぎつぎと日活ロマン・ポルノ勢に稼ぎにいってしまって、まことに心もとない。
監督たちは一様に〝女優がいなくて困った〟といっているが、このごろの女優不足はかなり深刻になってきた。
★…そんな中で〝孤軍奮闘〟しているのが、青山美沙だ。
はじめのころは、なんやこのコ、お高いなぁーと思っていたら、そのお高くとまっているところが、逆にいいのだ。
本人はそうは思っていないだけ。決して、だが受けての側からはそうみえる。
★しかし、このお高くとまっている女と寝るーという快楽はまたいいものだ。新宿でホステスをしていただけに、なにやら艶っぽい。
★…青森の出身で、キメ細い白い肌はカラーになったとき、一段と冴える。最近作「情事の報酬」(監督和泉聖治)のベッド・シーンは断然光っていた。
★…うまくなったなぁーと思わせる。22才の熟した女体のエロチシズムが、彼女のエクスタシーの表情からこぼれていた。
★…とかく、泥くさいニュアンスがぬけない女優たちの中で彼女は美しく磨かれはじめた女のエロスを感じさせる。
数少ない美人型ピンク女優の中で、ここ一番ガンバッてもらいたい。

（眼）

《ポルノ対話》

《芹河美奈》の悪女的恍惚の表情

背後位、69、フェラチオ…喜んでくれる男性につくしたい

略歴はピンク女優全調査（36頁）を参照して下さい。

オナニーは罪悪感があってすぐやめた

●女優になる前はなにしてたの?

美奈　高校中退してスナックや美人喫茶に勤めていたの。新聞でモデル募集をやってたからモデルグループに入たの。モデル時代は内田ロリーターといっていたの。いまだにロリーターといわれるの。

●初めてベッドシーンをやったときどんな気持した?

美奈　ことしの4月に「セックス㊙秘話」でデビューしたんだけど、ベッドシーンをやるのいやだったわ。相手は鶴岡八郎

さんだったけどおかしくて笑っちゃった。

●キミはすごい売れっ子だけど何本くらい出演した？

美奈　もう20本くらいよ。月に五本なんていうのもあって、この間なんか貧血をおこしちゃったの。

●殺人的な忙しさだね。キミは早熟な感じがするけど生理は何才のときあった？

美奈　中学三年のころよ。

●体毛はいつごろ生えてきた？

美奈　中学三年ね。一度そったことがあるの、かゆくて生えてくるまで彼にイタイっておこられちゃったわ。

●オナニーはやったことある？

美奈　中学生ころやったことあるけどやったあとむなしくて罪悪感があってすぐやめちゃったわ。

オッパイはさわれすぎてもう感じない

●オッパイが大きくなったのはいつ？

美奈　15才のとき。シコシコしてすごくいたかったわ。

●美奈ちゃんのセックスゾーンはどこ？

美奈　背中と髪の毛に弱いの。あたしこの世界に入ってからオッパイをさわられすぎちゃって感じなくなっちゃったの。

●オッパイ公害だね。で、バージンにサヨナラしたのは何才で？

美奈　16才で相手も同じ年のボーイフレンドだったわ。新宿のホテルだった。

●どんな感じした？

美奈　前戯はよかったけど、唇を人さし指でキューッとひっぱられた感じして痛かったわ。もうこんなこと一生やるのイヤだと思ったけど2回目からは私の方からやろうって誘っちゃったわ。

●痛くてもいい気持の方が強かったワケだね。いま恋人はいるの？

美奈　いる。26才の人だけどいま病気で会えなくなっちゃったの。前はいつも会

っていたのよ。
●じゃ、淋しいだろう?
美奈　月に二、三回くらいよ。そのとき
SEXするときもあるけど、いまは仕事
が仕事だからその気にならないの。
●ベッド・シーンのやりすぎかな?
美奈　それはあるわね。あたしは不感症
じゃないけど、毎日ベッド・シーンばか
りしていると恋人に会ったときくらいは
SEXやりたくないなーと思うの。
●それじゃ彼氏がかわいそうだよ。で、
キミはセックス強い方?
美奈　量より質を好むから一晩に一回し
かやらないわ。普通ね。それよりか一時
間くらいかけて中味の濃い方が好き。
●そのときエクスタシーは感じる?

リップ・サービスは抜群の自信よ

美奈　以前は一、二回は感じてたけどこのごろ全然おきないの。これも仕事のせいかな。でも、あたしって変なときにエクスタシーを感じちゃうの。
●たとえば?
美奈　ショッピングしたりするときよ。
●欲求不満じゃないの?　月に5本もかけもちで仕事をしているから。
美奈　そうかしら。この前も貧血を起して倒れちゃったの。
●やりすぎだよ。SEXのやりすぎならいいのにね。で、美奈の好きな体位は?
美奈　背後位が好きで一番感じるわ。
●ワンワンスタイルだね。シックスナインはやる?
美奈　毎回やるわよ。あたしって男につくしちゃう方だから相手が欲求すればなんでもやるわ。
●フェラチオも?
美奈　モチロン。上手だっていわれる。
●キミは唇が厚いからキットうまいんだ

よ。コンドームは？
美奈　使ったことがないわ。洗じょうするくらいね。もらったあとのあの感じがとても好きだし、もったいなくてコンドームなんて使えないわ。
●ヤルー・サスガだね。じゃ、キミのSEXほめられるだろう？
美奈　しまるってほめられるわ。

経験した男性20人 悪女になってイジメルの

●機能もバツグンでオトコにつくすキミは何人の男性と経験した？
美奈　20人くらいね。
●やっぱりね。それだけ経験してもまだやりたい？
美奈　もういいわ。それに仕事でいろんな男性と寝てるもんね。
●どんなタイプの男性が好き？
美奈　なよなよした色の白い人で長髪で胸毛がない人。それにタレ目がいいわ。タレ目の人ってすごく可愛いいんだもんね。母性本能を発きしちゃうわ。

●男にホレると可愛いがっちゃう方？
美奈　悪女になっちゃうの。なびくようでなびかない態度をとるから相手が困っちゃうのね。それがまたおもしろいの。
●男心をモテ遊ぶ悪いコだね。で、SEXしたいなーなんて思うときはどんなとき？
美奈　仕事がなくて家で水上勉の小説を読んでいるとなんか感じるわ。淋しい感じでやるせなくなっちゃうの。
●そんなときどうするの？
美奈　詩を作ったり小説を書いてまぎらしちゃうわ。
●小説を書いてるの？　鈴木いづみの二代目になるのかな。
美奈　学生時代から文学少女だったの。中学3年から書きはじめてるんだけどまだ書き上らないの。
●キミはエラいね。がんばって書き続けてね。で、この仕事はおもしろい？
美奈　映画のおもしろさがわかってきたので楽しいわ。これからは自分のイメージに合った作品をやりたい。メルヘンのある少女役なんてやってみたいわ。このピンク映画にもドロドロした愛欲ものばかりじゃなく、清涼飲料水のスプライトみたいなものがあってもいいと思うの。

ピンク女優全調査

青山　美沙

⬇25年5月1日青森県生まれ。新宿でホステスをやっているときスカウトされ44年「男殺し極悪弁天」(関東映配)でデビュー。最近作「情事の報酬」(ミリオンフィルム)。かんじんのオッパイは小さくて可愛いらしいが色が白くキメ細かい肌は抜群。最近のはグット女っぽく演技もうまくなった。趣味は手芸S158、B80、W55、H86。

東　祐里子

⬇27年11月24日秋田県生まれ。横浜の劇団で歌の勉強をしているときスカウトされ45年「覗かれた痴女乱行」(大蔵映画)でデビュー。小柄でペット的な女優が多い中で、健康的でバーンとしたプロポーションは抜群。このところがグーンときれいに色っぽくなり演技もうまくなった。秋田出身だけに酒は強い。最近作「処女悩殺」(OP映配)。S164、B83、W60、H86。

泉　ゆり

⬇21年10月14日東京生まれ。40年「情事の罠」(東京企画)でデビュー。18才のときにピンクの世界に入り、この世界しか知らないという生粋のピンク女優。新人女優のアテレコを専門にやっているだけにエクスタシーの表情と声がうまい。ムードのある演技、おんなの情感をただよわせるベテラン。最近は同僚の俳優と結婚。最近作「女は愛に濡れる」(OP映配)。S155、B83、W58、H84。

大月　麗子

⬇20年12月19日福岡生まれ。39年に「裸虫」(国映)でデビュー。この世界では古株だが地味な存在なため脇役が多い。エクスタシーの表情は抜群で芸者とか人妻役が多い。和服のよく似合う純日本的な女優だ。この手の女優が少ないため貴重な存在といえる。最近作「エロチカ色合戦」(OP映配)。お酒が好きでウイスキーなら角一本はあける酒豪。S158、B83、W57、H85。

沖　さとみ

⬇25年5月26日山形県生まれ。卒業後上京、ゴーゴーガールを経て45年「日本恥部物語」(東京興映)でデビュー。大きな瞳、大きな唇、オデコちゃんで愛きょうがある。オッパイが水桃のように生々しくすいこまれそう。やや太目だが、白い肌と現代的なフェイスは貴重だ。最近作「やり逃げ専科」(OP映配)。山形出身なだけあって一升酒を飲む。S154、B86、W60、H84。

鏡　洋子

⬇24年4月2日埼玉県生まれ。ナイトクラブで歌をうたっていたが東映の大部屋に入り「不良番長シリーズ」に三本出演。46年「あの穴この穴」(国映)でデビュー。小柄だが現代的なマスクはこの世界では貴重。かんじんのオッパイは小さいが全体のバランスはいい。カーキチでカローラを乗り回している。最近作「続・ワイセツ？」(日本シネマ)。S156、B80、W58、H88。

北美　マヤ

↓26年12月30日群馬県生まれ。46年「愛のベットイン」（若松プロ）でデビュー。ピンク女優から作家になった鈴木いずみによく似ている。ジャンボ級のプロポーションは抜群で、特にオッパイはものすごく、女優の中でも群をぬいている。脱ぎっぷりもいい気立てのいい女。最近作「セックス相談」（ミリオンフィルム）。S160、B90、W60、H88。

小島　マリ

↓19年1月18日大阪生まれ。小豆島でバスガールをして上京、松竹映画にチョイ役で出演したが39年「妻の子」でデビュー。小羊のような細い体だがエクスタシーの表情は抜群にうまく中年男を悩殺。女学生・OLなどの役柄が多かったが最近は女っぽさ？をみとめられ人妻役が多い。脱ぎっぷりもよくサバサバした性格の持主。最近作「感じる若妻」（OP映配）。S160、B83、W56、H86。

桜　マミ

↓26年8月5日東京生まれ。クラブの女バーテンをやっていたのを、スカウトされ46年「性教育肌合わせ」（OP映配）でデビュー。小柄で浅黒く引き締まったプロポーションでアングルによって変化する顔は貴重。サッパリとした性格でおしゃべりで陽気でアネゴ肌。最近作は「舌と肌と肌」（OP映配）。趣味は洋酒あつめだがお酒は水割り一、二杯でダウン。S156、B85、W55、H85。

瀬川　ルミ

↓21年10月17日山梨県生まれ。44年「猫なめずり」（日本シネマ）でデビュー。それほどグラマーじゃないが、どことなく行動的で現代的な魅力がある。猫のような目のかがやきは個性的で、最近はグッと女っぽさが増してきた。情婦、悪女役が得意。きさくに相手に飛びこんでゆき社交的。最近作「男女のセックス処理」（OP映配）。趣味はゴーゴー。S155、B80、W58、H88。

芹河　美奈

↓28年3月28日東京生まれ。高校中退しスナックや美人喫茶で働き、モデルグループにスカウトされ47年4月「セックス(禁)秘話」（東京興映）でデビュー。白い肌は日本人離れしている。それも道理、ハーフでファッションモデル時代は内田ロリータといっていた。最近作「男の喰いもの」（六邦映画）。月五本の作品をこなす売れっ子ぶり。趣味は詩作と小説書き。S156、B79、W56、H84。

空井みづほ

↓28年1月7日秋田県は横手市生まれ。中学卒業後上京、OLになったが友人の紹介で45年「つれ込み天国」（東京興映）でデビュー。ものすごいハスキーボイスで顔をみると雪の肌の秋田美人。エクスタシーの声と表情は最高で40本以上の作品に出演。映画より実演の方が好評。最近作「エロチカ色合戦」（OP映配）。愛称はチビで趣味は洗たくすること。S155、B82、W58、H85。

宝井　京子

↓23年8月16日群馬県生まれ。ショーダンサーを夢みて学校に入ったが自動車事故で足をいため断念。スカウトされ44年「女の七ツ道具」でデビュー。デビュー当時は横山道代とピーターをミックスしたような中性的でお色気がなかったが、最近は女っぽくふっくらしてきた。行動的で派手に見えるけど案外にウエットだ。最近作「レズSM大百科」（日本シネマ）。S155、B80、W55、H85。

ピンク女優全調査

珠　瑠美

➡23年1月15日東京生まれ。高校卒業後、OLになったが友人の紹介で43年「裸女山脈」でデビュー。小柄な女優の多い中でバーンとしたプロポーションとオッパイのカッコよさは群を抜いて素晴らしい。大人の女の色気を感じさせる女優ではナンバーワン。妹の谷身知子と姉妹でピンク映画で活躍している。最近作「情事の報酬」(ミリオンフイルム)。S164、B94、W60、H93、プロ鷹専属。

谷　身知子

➡25年3月20日東京生まれ。43年「色情診断」でデビュー。現代的なマスクとスタイルは健康的で姉の珠瑠美と仲よく脱ぎまくっている。ボインでプロポーションがよく最近はグーンと大人っぽくなった。姉妹そろってお酒が強く、飲みっぷりも豪快。センスも抜群で女らしい性格。実演でも活躍している。最近作「欲情家族」(ミリオンフイルム)。S166、B90、W62、H90。プロ鷹専属。

谷　ナオミ

➡23年10月20日博多生まれ。42年「スペシャル」(国映)でデビュー。男殺しのオッパイと異名をとる見事な乳房でファンを悩殺。劇団〝ナオミ〟を結成し、女座長としてカンロク十分だ。最近は演技もうまくなり大人の妖艶さをふりまきピンクの女王だ。「性の殺し屋」(六邦映画)で監督までして一人三役で活躍。最近作「性遊記」(六邦映画)。趣味は競馬。S158、B96、W60、H96。

千草　志保

➡25年9月6日東京生まれ。高校卒業し、OLを七カ月ほどして友人の紹介で46年「日本セックス縦断・東日本篇」でデビュー。アングルによっては内田高子に似ている。小柄なからだに似合わずなかなかのボインでカッコいい。生粋の江戸っ子らしく割切がよく脱ぎっぷりもいい。玉子が割れる名器の持主最近作「性の殺し屋」(六邦映画)。趣味は油絵と読書S158、B86、W57、H87。

千原和加子

➡26年10月10日東京生まれ。45年「ただれた関係」でデビュー。ジャンボ級のプロポーション。小さいときから弘前のおばあちゃんのところで育ち、リンゴの如くバーンと張ったオッパイはカッコいいしその下にあるホクロが魅力的。一見ボーイフシュで中性的な感じがするが手芸が好きというおしとやかな面もある。最近作「欲情家族」(ミリオンフイルム)。S163、B84、W58、H90。

月山　友美

➡25年8月15日徳島生まれ。一年半前に単身で上京、OLになった。お金がほしいとモデルをやり47年2月「昭和猟奇犯罪実録」(葵映画)でデビュー。オッパイが103㌢の超ボインの持主でピンク女優になったのはこの偉大なオッパイを見せたかったからという。陽気でホガラカで笑い上口。最近作「女湯・男湯」。趣味は社交ダンス。S158、B103、W63、H92。オフイス604所属。

ピンク女優全調査

林　美樹

↓20年1月16日東京生まれ。高校卒業後、劇団フジ・劇団赤と黒を経て40年「狙われた肌」でデビュー。ことして七年目のベテラン女優だ。さして美人ではないが大きな瞳、ハナ、唇と顔の部分が大作りで南方的でチャーミングだ。小柄で整ったプロポーションは年より若く見え日活映画にも出演。最近作「エロチカ色合戦」（OP映配）。S160、B80、W58、H88、MAGプロ所属。

真湖　道代

↓24年8月18日北海道生まれ。バスガイドやスナックで働いていたが41年「縄と乳房」でデビュー。デビュー当時はピンク映画の吉永小百合といわれ大学生に人気があった。最近はグッと女っぽく変貌した。頭の回転も早く色白でキメ細かい肌が魅力的。最近は日活ポルノに多く出演している。最近作「痴情の女」（日本シネマ）。キャリア七年と息が永い。S158、B85、W62、H88。プリマ企専属。

水木　良子

↓25年5月29日東京生まれ。池袋のデパートに二年間いたが女優の月原映子の紹介で46年「17才の性モラル」（東京興映）でデビュー。香取環をグーンと若く細くした感じで現代的なセンス抜群。若いんだから何んでもやってやるの精神の持主で大器晩成型で楽しみ多い女優だ。趣味はゴーゴーとショッピング。最近作「ポルノ遍歴」（OP映配）有望な新人。S161、B85、W60、H85。

宮下　順子

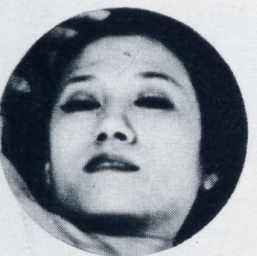
↓24年10月14日東京生まれ。料亭に手伝いにきていたところ小林悟監督にスカウトされ46年「私はこうして失った」（葵映画）でデビュー。ピンク映画の山本富士子といわれた松井康子にそっくりで、純日本的な美人女優。お酒が強くウイスキーは軽く一本をあけ平気な酒豪だ。最近は日活ポルノ〝団地もの〟に出演。最近作「女は愛に濡れる」（OP映配）。S160、B85、W60、H88。

山樹　友代

↓26年4月2日長崎生まれ。二年前チャームスクールに入るため上京したが、気が変わり洋裁学校に入る。アルバイトでミニクラブで働いていたが友人の紹介でモデルクラブに入る。ことし4月に「セックスが最高よ」（ミリオンフイルム）でデビュー。現代的なマスクとプロポーションは抜群。セリフになまりがあるが大型グラマーとして有望な新人。趣味はゴルフ、S168、B90、W63、H92。

乱　孝寿

↓18年5月2日大阪生まれ。42年「㊙風俗史・初もの」でデビュー。エキゾチックな瞳が魅力的。頭の回転が早くシャープ。小型だが均整のとれたプロポーションで日活ポルノにも出演。趣味は釣りと競馬。とくに競馬は確率がよく、霊感女優として新聞でも活躍している。副業に渋谷でスナックを経営している。最近作「恍惚の日々」（葵映画）。S156、B84、W58、H84、MAGプロ所属。

SHINE KICHIGAI
シネ基地街

●ピンク劇団が夏休みを兼ねて地方巡演

月おくれのお盆が稼ぎ時―とピンク映画の各実演劇団が地方巡業に回ってモテモテだった。劇団ナオミが新潟、国映芸能が郡山と仙台へ、日本シネマが北海道…といった具合で、東北地方にポルノとハダカのナマの舞台を公演した。

いずれもピンク映画の上映の間に、一時間ほど実演するもので、芹河美奈、水木良子、空井みづほ、千原和加子、千草志保、谷ナオミらは「舞台で度胸つけて、演技の勉強になる」といい、「知らない土地を旅行するのも、夏休みをかねて、稼げるし」「ファン獲得にいいPRよ」とそれぞれ胸算用や、お楽しみやらで、旧盆ピンク実演はそれぞれ成果をあげたようだ。

芹河美奈

水木良子

空井みづほ

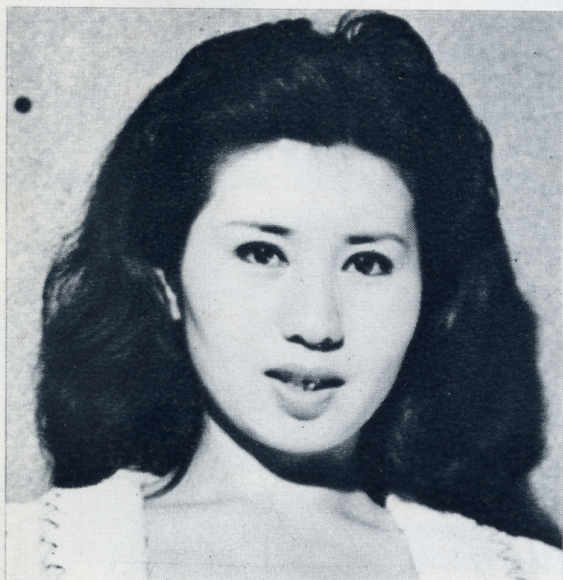
千原和加子

千草志保

谷ナオミ

●谷ナオミが監督二作目に意欲

さきに「性の殺し屋」を監督した谷ナオミが、二本目の監督を手がける。六邦映画製作で、脚本は団鬼六。題名未定だが、一作目で自信をつけて、演出するのがおもしろくなったとみえ、かなり意欲的。

谷の主演、監督と二役だが、ベッド・シーンにぐっとリアルな迫力を加えるというからなかなかヤル。さて二匹目のドジョウは?

2人目を準備中の内田高子

●内田高子が二人目を出産準備

内田高子がきよ年女の子を出産したが、また二人目を妊娠中。夫?はもちろん向井寛監督。正式に結婚も入籍もしてないという、いま流行のニュータイプの同棲方式だが、内田高子はもうすっかりママ業が板につき、11月に生まれる準備中。オヤジの寛監督も、いたってオープンで、親バカぶりの一端をのぞかせている。内田高子や、向井寛のように「ワンパクでもいいたくましく育ってほしい」。

ＯＰ映配９月の映画ガイド

期間		
8/29～9/4	セックス裏入門（ＯＰ映配）	人妻バイトＳＥＸ（ミリオンフィルム）
9/5～9/11	寝かせ上手（ＯＰ映配）	ポルノ特訓法（ミリオンフィルム）
9/12～9/18	性豪おんな競べ（ＯＰ映配）	十七才のすきもの族（ミリオンフィルム）
9/19～9/25	逆転セックス（ＯＰ映配）	色情狂騒曲（ＯＰ映配）
9/26～10/2	感じる若妻（ＯＰ映配）	汚された制服（ミリオンフィルム）

恵通系９月の映画ガイド

期間			
8/29～9/4	人妻バイトＳＥＸ（ミリオンフィルム）	ヤングレディ性生活（東京興映）	セックス裏入門（ＯＰ映配）
9/5～9/11	ポルノ特訓法（ミリオンフィルム）	夜の体位・歓喜（日本シネマ）	寝かせ上手（ＯＰ映配）
9/12～9/18	十七才のすきもの族（ミリオンフィルム）	性遊記（六邦映画）	性豪おんな競べ（ＯＰ映配）
9/19～9/25	暴走する十九才（東京興映）	セックスの条件（国映）	逆転セックス（ＯＰ映配）
9/26～10/2	汚された制服（ミリオンフィルム）	誕生の美学（東京興映）	感じる若妻（ＯＰ映配）

■年間購読者募集のお知らせ

成人映画専門館でしか発売していない本誌を、定期的に購読できるシステム、それは年間購読会員になることです。

半年間一、二〇〇円、一年間二、四〇〇円で送料は当方で負担します。

なお、お申し込みは現金書留でお願いいします。

■バックナンバーのお知らせ

成人映画の専門誌として幅広くご愛読いただいております「成人映画」も80号となりました。成人映画に関しての貴重な資料としてはこの成人映画しかありません。

在庫も少なくなりましたのでお早目にお申し込み下さい。

なお、現在品切れのバックナンバーはつぎの通りです。5号、12号、14号、23号、24号、25号、26号、29号、30号、31号、33号の11冊です。各号とも74号まで一部百円です。お申込みは現金書留か切手でお願いいします。

●編集後記●「成人映画」も今号で80号を迎えました。それを記念して八ページのカラー特写ヌードを特集しました。ピンク映画界はいまきびしい状況に立たされています。なんとかここでガンバッてもらいたい。せっかく定着したファンを失なってはならない。そのためにはいい作品、おもしろい映画をみせるしかない。〝日本列島改造論〟の論議がさかんだが、ピンク映画も、ここで大胆な改造を試みなければ…トップの特集記事はピンク映画をふり返って苦言を提したわけですが……。

成人映画

成人映画■昭和47年9月1日発行・通巻80号・毎月1回発行■編集兼発行人・川島のぶ子■発行所・有限会社・現代工房＝東京都港区六本木三の四の三四・601号・〒一〇六■電話・東京03（583）1513■定価二〇〇円

躍進するＯＰ映画が贈る

若さと楽しさいっぱいの話題作!!

★９月封切作品

セックス裏入門	監 小川欽也・城新子・千原和加子・林美樹
寝かせ上手	監 門前忍・水木良子・芹河美奈・野上正義
オール・カラー 性豪おんな競べ	監 加奈沢史郎・泉ゆり・北見マヤ・吉田純
逆転セックス	監 小川欽也・林美樹・城新子・桜マミ・乱寿孝
感じる若妻	監 新船澄孝・大月麗子・小島マリ・港雄一

ＯＰ映画配給株式会社

本社・東京都中央区銀座５－３－12　〒104 壱番館ビル　ＴＥＬ（573）5566～8　記録専用（571）4466

プリント宣材倉庫・台東区上野２－13－６　〒110 上野スター座内　ＴＥＬ（831）0158

「成人映画」昭和四十四年十二月十八日第三種郵便物認可
昭和四十七年九月一日発行毎月一回一日発行
通巻80号昭和47年9月1日発行 編集発行人 川島のぶ子 発行所 東京都港区六本木三—四—三四 六〇一号室 電話(五八三)一五一三 現代工房 定価二〇〇円